

孫や子に伝えたい戦争体験 上巻 目次

序

凡例

編さんにあたって

1 戦場体験とシベリア抑留

01	電信柱に花が咲いた	藤岡	忠信	9
02	昭和戦国の青春時代	石井	正	14
03	百難冒して輸送する輜重兵	高木	新一	18
04	私の戦争体験（応召入隊から北支那まで）	安住	秀蔵	23
05	野砲兵の従軍	山本	節蔵	27
06	私の戦争体験（陸軍航空隊）記	前田	盛広	30
07	私の戦争体験とその検証	山本	眞澄	35
08	従軍記	新原	廣文	40
09	戦争体験記	竹原	進	44
10	運命のいたずら	浜江	晋	49
11	私の従軍体験	矢野	昶	50
12	台湾第七野戦船舶廠の想い出	平井	孝二	52
13	応召から敗戦まで 私の比島戦記	川下	信蔵	56
14	暇の屍は無縁仏か	池山	主宣	61
15	或る思い出	前田	稔	63
16	学徒出陣―初年兵・幹候教育隊―	山本	宏	65
17	歩兵第百十連隊旗奉焼の思い出	上田	繁福	70

2 大陸での生活と引き揚げ

18	郷土部隊が臨時憲兵に	砂川	哲夫	73
19	護身用の拳銃モーゼルは故障していた	中井	一民	78
20	戦争参加と鳥取への入植	村木新三郎		82
21	復員（開封出発後上海到着まで）	千本	誠治	87
22	太平洋戦争セレブス島回想記	吉松	清次	90
23	ああ玉砕の島サイパン島に憶う	前田	寿雄	95
24	私の戦争体験記	田中	幾雄	99
25	灰色の軍隊	丸本	重信	103
26	少年よ大死を抱け―海軍少年兵の草創―	河本	義夫	107
27	旅立ちの時（出征の日）	角	博	111
28	ピカドンと暗号兵	谷口芳三郎		116
29	シベリア抑留前後の記	森田	東明	120
30	シベリア抑留	米田	早苗	125
31	ソ連抑留記	竹安	熊市	130
32	戦争の傷跡	井上万吉男		133
33	シベリア抑留記	小林	正治	138
34	私のシベリア抑留	井澤	博	143
35	比島従軍記	岸本	芳江	147
36	元従軍看護婦の姉の終戦と六〇年ぶりの従軍手帖	別所	花江	151
37	少年時代の思い出	芦川	喬	157
38	少年時代の戦争体験	足立	隆司	159

3 満蒙開拓団・青少年義勇軍

39	北朝鮮、地獄の収容所からの脱出	祝部	弘子	164
40	終戦の想い出	植田	愛子	168
41	ふたつの故郷	関山	春樹	173
42	私の青春	関山	ミサエ	177
43	引揚げの記	谷口	正子	180
44	満州からの引揚げ	堀田	健一	185
45	敗戦の満州で〜五歳の記憶	佐治	制子	189
46	満州での生活の様子	土井	富子	194
47	空と風(旧満州よりの引揚げ)	山田	泰親	197
48	私の昭和二〇年八月	山内	雪子	202
49	ソ連軍侵入から終戦・引き揚げの記憶	山内	敬	206
50	満州引揚事情	澤本	清子	208
51	母の渡満と引き揚げのこと	四井	幸子	215
52	終戦直後のこと	足立	君子	220
53	広漠の地に陽は墜ちて	中本啓一郎		222
54	今では誰も真似のできない私の青春	川本	次博	227
55	満蒙開拓義勇軍への参加	山根	茂	232
56	第七次満蒙開拓義勇軍への参加	高崎	功六	237

あとがき